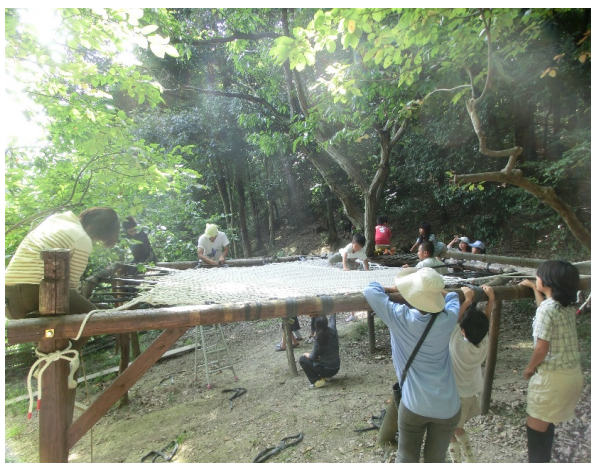


活動名	団体名	冒険遊び場 てんぐりかっぱ
冒険遊び場 てんぐりかっぱ 遊具修繕及び作業小屋補強事業	地域	広島県福山市
	代表者	代表者 三好 久子
	支援金額	16万円
活動概要		
<p>「てんぐりかっぱ」は平成 17 年から継続して月に 1 回、裏山の自然環境を「冒険遊び場」として開放しています。「自分の責任で自由に遊ぶ」をモットーに禁止事項をなるべくなくし、子どもたちの本来持っている創造力を活かし徹底的に遊べる場を提供しています。</p> <p>大人が手や口を出さずに子ども達の自由な遊びを見守るためには、環境を整備して予測可能な危険は極力減らすことは重要であるため、この度安全面に問題のある箇所を全面的に補修・整備・取替え作業を行わせていただきました。</p> <p>◆実施時期</p> <p>平成 26 年 4 月～平成 27 年 3 月</p> <p>広島県福山市千田町藪路506</p> <p>◆参加人数</p> <p>※冒険遊び場てんぐりかっぱ 遊具修繕及び環境整備事業 参加者数 延べ19名</p> <p>※冒険遊び場の開催 2014 年度 10 回開催 参加者数 延べ1050名</p> <p>参加総人員:1,069 名</p>		



遊び場の日に大人も子どもも一緒に大型ネット張替えの作業をしました



新しく張り替えた大型ハンモック遊び方や乗る順番を子ども達で相談中



井戸を撤去して広くなった敷地で作業中
基地を作ったり穴を掘ったりもできます



整備された水場
子どもはいつだって水遊びが大好きです

◆実施に伴う効果

大型ネット、大型ハンモックやターザンロープなどの設置遊具は子ども達にとっても人気があるので傷みも早いのですが、今回丈夫で安全性の高いものに張替えできたので安心して遊びを見守れるようになりました。

また山道の整備を行い、敷地内の井戸を埋め水場の整備をしたことにより、敷地を有効に活用でき移動もしやすくなったので、子どもの遊びの幅がより広がりました。

◆苦勞した点

遊具修繕・環境整備事業について苦勞した点

- ・工事を外注に出すとコストがかかるので素人のスタッフで工事をするのですが、施工方法や技術的な面で試行錯誤を重ねて進めていくので予定よりも時間がかかりました。
- ・大型ネット張替えの際、欲しい材料がなかなか手に入らず、他の冒険遊び場などから情報をもらいながらやっと購入することができました。
- ・上記の点や、スタッフの日程の調整をするのに苦勞したため、計画では4月～6月で整備事業を行う予定が大幅に延長することとなりました。

冒険遊び場てんぐりかっぱの運営で苦勞した点

H26年4月から利用料廃止し、主に「てんぐりかっぱを支える会」の寄付による運営をスタートさせたので、多くの方に「支える会」に入会して頂き運営を安定させたいのですが、押し付けでなく冒険遊び場の趣旨を理解し賛同して入会していただくのにどのように広報活動すればよいか模索中です。

◆今後の課題・発展の方向性

現在の「てんぐりかっぱ」は活動歴が10年と長く、地域に根差しているのですが、場所が個人宅の敷地であり、駐車場も限られているので、もっと多くの方に冒険遊び場を知って参加していただくために、他にも拠点が重要だと考えて、現在市内のいくつかの候補地に働きかけています。

また、運営しているスタッフも子育て中の母親や学生ボランティアが多く、子どもの成長によるライフスタイルの変化や学校の卒業などでメインスタッフが流動的になりがちです。今後は長期にわたって活動可能なシニア世代のスタッフ参加も呼びかけて、幅広い世代によるスタッフ構成にしていく必要があると考えています。

◆活動を終えての感想・意見等

お金がかかるからとあきらめるのではなく、活動上必要なことはお金がかかっても貴財団のようにご支援いただける団体があるということがわかり、今後活動していく上で安心感と希望がいただけました。ご支援いただき、スタッフ一同本当に感謝しております。

昨今、子ども達が自由に遊べる場所が少なくなる中、冒険遊び場のような子どもが自由に遊びをつくれる場所、のびのびと遊べる空間を作ることはとても大切だと考えています。てんぐりかっぱを続けていくと同時に、拠点を増やす活動も行なって参りたいと思いますので、今後ともご支援頂けますようお願い申し上げます。